

△セイブルOD錠 [内]

【重要度】★★ 【一般製剤名】ミグリトール (U) Miglitol 【分類】糖尿病治療薬 [α -GI]

【単位】△50mg・▼75mg/OD錠

【常用量】1回50mg1日3回 [最大1回75mg]

【用法】毎食直前

【透析患者への投与方法】重篤な腎機能障害には慎重投与 (1)

【その他の報告】不明 (3) Ccr 30mL/min未滿の患者で反復投与により蓄積性が認められており他剤を選択 (5)

【保存期CKD患者への投与方法】腎不全患者や血清Cre値2mg/dL以上の例には適用されない (U)

【その他の報告】GFR<50mL/minでは避ける (3) データなし (17)

CKD G3以降では避ける (Lalau JD, et al: Kidney Int 87: 308-22, 2015)

Ccr 30mL/min未滿: 反復投与により蓄積性が認められており他剤を選択 (5)

【特徴】 α -グルコシダーゼ阻害薬。マルターゼ、イソマルターゼ、スクラーゼ、ラクターゼ、トレハラーゼなどを阻害。吸収されるので、下部小腸での副作用が起こりにくい。GLP-1の分泌を促進させ、体重増加をきたしにくいなどの特徴があるとされる。

【主な副作用・毒性】低血糖、イレウス、胃腸障害、肝障害、皮膚障害など。

【安全性に関する情報】Pneumatosis cystoides intestinalisの症例報告 (Kojima K, et al: Intern Med 49:1545-8, 2010)

【モニターすべき項目】血糖、HbA1c、GA、腎機能

【吸収】吸収は飽和動態をとる。吸収されることと薬効との関連はない (U) 用量に関係なく吸収率は高い (Ahr HJ, et al: Arzneimittelforschung 47:734-45, 1997)

【F】約60% (1) 50~70% (U)

【tmax】2~3hr (1,U)

【代謝】ほとんど代謝されない (1,U)

【排泄】尿中排泄率30% (1) ほとんど代謝されずに尿中に排泄される (1,U)

【CL】0.103L/hr/kg (1) GFRの範囲内 (Ahr HJ, et al: Arzneimittelforschung 47:734-45, 1997)

【t1/2】約2hr (1,U) Ccr 60mL/min以上: 3.5hr, Ccr 30~60mL/min: 5.5hr, Ccr 30mL/min未滿: 11.5hrと腎機能に低下により延長する (1) 0.4~1.8hr (Ahr HJ, et al: Arzneimittelforschung 47: 734-45, 1997)

【蛋白結合率】4%以下 (1,U) ほとんど結合しない (Ahr HJ, et al: Arzneimittelforschung 47:734-45, 1997)

【Vd】0.28L/kg (1) 0.18L/kg (U) 0.3~0.8L/kgと低くBBBを通過しない (Ahr HJ, et al: Arzneimittelforschung 47:734-45, 1997)

【MW】207.2

【透析性】除去される (1)

【O/W係数】LogP=-2.7[1-オクタノール水系] (1) 【pKa】5.9

【相互作用】肝CYPを阻害しない (1) ジゴキシンの血中濃度を20%程度低下させるが、影響しないという報告もある (1)

【主な臨床報告】ナテグリニドと比較して抗動脈硬化作用がある (Sawada T, et al: Circ J 2013)

アカルボースやボグリボースよりも肥満患者の体重を減らす作用が強い (Sugihara H, et al: J Diabetes Invest 2013)

食直前と食直後投与では3か月間の血糖コントロールに差がない (Aoki K, et al: Diabetes Obes Metab 2008 PMID: 18721256)

全身吸収されることで小腸下部からのブドウ糖吸収が行われ、GLP-1に上昇による血糖上昇抑制作用が期待できる (Narita T, et al: Diabet Med 2009 PMID: 19236625)

DPP-4阻害薬併用による相加的効果 (Mikada A, et al: Diabetes Res Clin Pract 2014 PMID: 25451890)

【更新日】20231226

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。